





くれよん

7・8月号 あんず組



今年例年より雨が少なく、暑い日が続いていますね。暑さに身体が慣れていく様、水分補給を細目に行いながら過ごしていきたいと思ひます。

先月、園庭に土が入り築山が高くなりました！子ども達は大喜びで築山に上り、登頂するとバンザイして喜んだり、下りる時、初めはすごく慎重に降りていましたが慣れてくると下部だけ小走りで降りたりと、楽しんであります。低月齢児の子ども達もハイハイで頑張っているんですよ。そしてもう一つ、園庭に出ると楽しみにしているのは園庭の花壇に出来始めた  と  の成長を見る事。花壇を見に行き日々、観察しています。触るときには「そーつとね」と声をかけると気を付けて触わり、愛おしんでいる表情に担任の心もほっこりしています。もう少し大きくなったら給食で食べている食材と一致して、野菜に興味を持って楽しく食べてくれるといいな…と、思っています。(*^_^*)

☆☆☆☆☆ 食事について… ☆☆☆☆☆

保護者の方から食べさせ方や成長とともに自分の好きな物や苦手な物の区別がはっきりしてくる年齢にもなり、今まで食べていたのに食べなくなった等の相談がありました。そこで、私達が気を付けている点や促し方をお伝えしたいと思います。

《 苦手な物について… 》



1才過ぎた辺りから味覚が発達し、今までより食材の味を敏感に感じるようになり始める為、この味は好き♡、苦手だな(>_<)と、子ども達が今までと違った反応を見せ始める時があります。その時、今まで食べていたからと無理強ひせず苦手な食材を1口に減らして提供したり、別の小皿に苦手な食材と好きな食材を一口ずつ入れて提供しています。苦手な物を一口でも食べられた時には「食べられたね♡」と褒めて食べられた喜びを感じてもらえるようにしたり、「○○を1口食べたら△△(果物など)食べようね。」と、食事の最後にその子の好きな物を“お楽しみ”として用意しておき、楽しく終われる事を大切にしています。それと合わせて、ママやパパが「おいしいね。」と食べている姿を見せる事も良いと思ひます。子ども達の“食べてみよう”と思う気持ちを大事にしていきたいですね。



《 食べさせ方について… 》



まだまだ月齢差が大きい1歳児クラスなので、手づかみ食べの子、スプーン等の食具を使って食べる子など、一人ひとりの発達に合わせて食べ方を促しています。

初めの段階として、手づかみ(つまみ)食べを促し自分で食べる経験を大切にしています。手づかみ食べの段階では、食材の摘み方方や口への入れ方、摘まむ時の強さなどを見ています。そして、皿の中で全部の食材を混ぜて遊び食べにならないよう、摘まむ物を1~2口分を入れられる小皿を用意しマナーの部分も知らせ、それと一緒に、コップ(器)の持ち方、飲む時のすすり方も見えています。

次の段階として指先の発達に合わせてスプーンを握る経験から始め、大人が手を添えて一緒にスプーンを持ち、口へ運ぶ時の動きを伝える、自分で口へ運ぶ…に繋げていきます。

スプーンを持ち始めた時は上握りで持つ事を短時間から促し、スプーンを使って食べられる様になったら肘を上げて正面からまっすぐスプーンを口へ入れられているか、食材をすくう時のスプーンの手先の操作の仕方等を見て、その動きに繋がるように遊びの中でも色々な素材の物を握る・摘まむ事を促したり、スプーンを正面から口へ入れる為には腕(肘)を上げて操作出来る事が必要なので、少し高い位置に玩具を設定し腕の動きを促しています。保護者の方とお子さんの様子を伝えあい、成長を共有して見守って行きたいと思ひています。 ※スプーンの手握り方については別号でまたお知らせしたいとおもひます。

